

## 衛星観測事業

委員会の主要意見		主要意見に対する国環研の考え方
現状についての評価・質問など	マンパワー的にも予算的にも決して十分とは言えない状況にもかかわらず、関係者の努力により成果が上がっている。	事業の継続や成果について評価いただきありがとうございます。
	重要なデータを継続的に取得できる体制を整備している。	
	本事業構成者が筆頭著者である査読付き論文も質が高く、関連する英語の原著論文数も順調に伸びていることも評価できる。	
	GOSAT2号機が不安定なことや、1号機からの移行作業が遅れ気味なことが気になる。GOSAT2号機の装置特性が短期的に変動する原因はどこにあるのか？	
今後への期待など	データ公開は外との連携の重要部分で表立って評価されるべき点であるため、十分強調するとよい。	データ公開について引き続きアピールするようにいたします。
	基礎的で価値の高いデータであることは理解するが、データは使うためがあるので、使う側の意見やアイデアを常時吸収するためにも、兼業やクロアポ制度を活用して、他機関の人材を活用すべきである。	他機関の人材活用については、機関間協定と研究公募による共同研究、委託業務、委員委嘱を実施中です。GOSATに関わる論文出版／学会発表の調査なども定期的に行い、データ利用などに関する新たなアイデアを見落とさないようにしているところです。クロアポなど NIES 職員身分の付与を伴う連携については今後検討いたします。
	新しい衛星には最新の機器をぜひ載せてほしい。	GOSAT-GW 搭載センサも広観測幅（広画角）と高波長分解能の両立という点で世界最先端です。このようなセンサの特徴を最大限に生かしたデータ処理と研究を行えるよう、「衛星観測に関する事業」として戦略的に取り組んでいきます。